

2023.7.23 カメムシを触れるようになった日



梨の天敵カメムシ
カメムシに刺されると硬い芯ができてしまいます。
今年は特に発生が多く、大きな被害が出ました。
もともと虫は苦手でしたが梨を守るためなら平気です。

梨生産者の若手を中心に接ぎ木講習会が実施されました。
台木にカッターで切り込みを入れて穂木を差し込み、
傷口がつながるようにテープをきれいに巻きました。
接ぎ木した苗木は今も元気に生育しています。

最初は重くてうるさくて怖かったですが
今は必要不可欠な相棒になっています。
速く、きれいに、楽に、刈れるように
工夫しながらいつも練習しています。
上手な人が使っているところを
見るととても勉強になります。

2022.9.10



初めて刈払機を使った日

農家研修のハイライト

2024.7.10 肥大調査をした日



梨は1日に1ミリずつ大きくなると言われています。
実際に測ってみると平均1.3ミリで今年の肥大は良好でした。
毎年データを積み重ねることによってその年の傾向が分かり、
追肥の量や、摘果作業を調節する手掛かりになります。

2024.3.27



みんなで接ぎ木をした日

2024.8.27 恵水の収穫をした日



茨城県オリジナル品種の恵水
1個で1kgを超える大玉もありました。
お客さんに美味しく食べてもらえる瞬間を
想像しながら心を込めて収穫しました。
1年の中で1番忙しくて1番楽しい仕事です。

Thank you for the wonderful gifts!

夢は常陸太田市を

目標は減農薬

抵抗性をもつ品種を取り入れ、
施肥設計や枝づくりを工夫して
病気に強い梨畑を作ります
農薬の散布回数をできるだけ減らし、
生産者の負担軽減、コスト削減、
環境にやさしい農業を
実現したいです

日本全国、世界にPRすることで
常陸太田市に観光客を呼び込むために
美味しくて新鮮な農産物
農作業体験・交流イベント
だけでなくもっと新しいことも
考えたいです

30年後は、、、

世の中はもっと便利に
なっているのでしょうか？
温暖化が進み、梨の栽培が難しく
なっているかもしれません
次の世代により良い形で
バトンを渡すためには
どうしたらいいのでしょうか？

貢献したいこと

農業の魅力を広める
若者の就農増加
自給率向上
農家の収入増
フードロスの改善

研修から学んだこと

農業のこだわりポイントは人それぞれ
品質、利益、技術、販売などではシンプルなやり方もある
手間のかかるやり方もある
若い時のやり方と高齢になってからのやり方は変わる
資金、人、場所、能力を考慮して
自分に合った
営農スタイルを
見つけたいです

人生の楽しみも大切

仕事も
楽しもう
不安があっても
情熱さえあれば大丈夫

何が起るか
わからない
臨機応変に
柔軟に考えよう

あきらめない
でも無理はしない

先輩農家の皆さん

梨栽培について1から教えていただき
感謝の気持ちでいっぱいです
色々な相談に乗ってくださったり、
わたしの就農準備を手伝ってくださったりと、
何十年もの経験や知識を
惜しみなく共有してくださりました
正解は
人それぞれ
たくさんのアドバイスを大切に
これからも頑張ります

未来への希望

出会い 学び 感謝

10年後は成園化

しているはず
苗木から育てた樹が大きくなり
収量が安定し、経営も上向き
規模を拡大して新品種や新技術
を取り入れたいです

女性として

女性がトライしやすい
環境を追求します
作業の省力化
軽量化
妊娠出産の乗り越え方

5年後は 梨の収穫がスタート

直売所で
お客さんに会える日を
夢見て、美味しい梨を
販売できるように
頑張ります
暑い夏にぴったりの
フローズンドリンクも
販売したいです

やりたいこと

梨の栽培についてたくさんの人に
知ってもらえるような農園を作りたい
多くの人にとって農業を身近なものにしたい
自分の力で美味しいものを
作れるようになりたい
機械の運転や修理、DIY
色々なことができるようになりたい

必要なこと

栽培の勉強
情報収集
人脈づくり
幅広い経験

行政・関係機関の皆さん

わからないことだらけで様々な場面で
ご迷惑をおかけしているかと思いますが
いつもご支援いただき
ありがとうございます

家族

たくさん
心配をかけて
いる分
恩返し
したい

友人

私らしさを
認めてくれる
ポジティブを
思い出させて
くれる

好きなもの

食べること
サイクリング
登山 写真

性格

がんこ
チャレンジ精神
雑草魂

「塞翁が馬」

友達が教えて
くれた言葉
一喜一憂しない
試練もあるけれど
チャンスも訪れる

学生時代

進学で青森県へ
農学部で果樹専攻
リンゴ栽培を体験

災害復興
ボランティア

子ども食堂
学習支援

興味関心

自分が食べている物
に関心を持ちたい

どんな人たちが
どんなところで
どうやって農業を
してるのか知りたい

農業の楽しさも大変さも
もっと知りたい

農業は

1人じゃできない

生産者同士の協力、
ご近所の方の理解、
応援してくれるお客様など
色々な人に支えられている

地域に貢献できる農家になりたい

農業って楽しい！
かっこいい！

生産者への尊敬

気候条件は毎年違うから
「農家は何年やっても1年生」
1年に1回しか作れないから
「30年続けても30回しか作れない」

実施済



2024年2月、
梨園を作るための土地を借りました。

耕作放棄地だったので最初の草刈りがとても大変でしたが、
夢に近づいたことがうれしくて草刈りも楽しかったです。

土が硬く、酸性に偏っているなどの問題がありますが
試行錯誤して一つずつクリアしていきます。

この土地を使わせていただけることに
感謝し、最大限有効に利用できるよう
色々な人と相談しながら計画を
立てていきます。

協力隊卒業後、農園を開業します



はじめまして
HITACHIOTA ポコファームです

ポコっと、もぎたて
新鮮な農産物を皆さんにお届けします

よろしくお願ひします



2024年6月
種まきイベントを実施しました。

緑肥として、ひまわりの種を蒔きました。
緑肥とは土壌改良のために栽培される作物のことです。
色々な種類がありますが、ひまわりは特に水はけ改善や、
有機物の補給に効果があります。

参加者を募集しイベント形式で実施しました。

参加者からは
梨園ができるのが楽しみになったと
感想をいただきました。

来年も実施予定です。

実施済



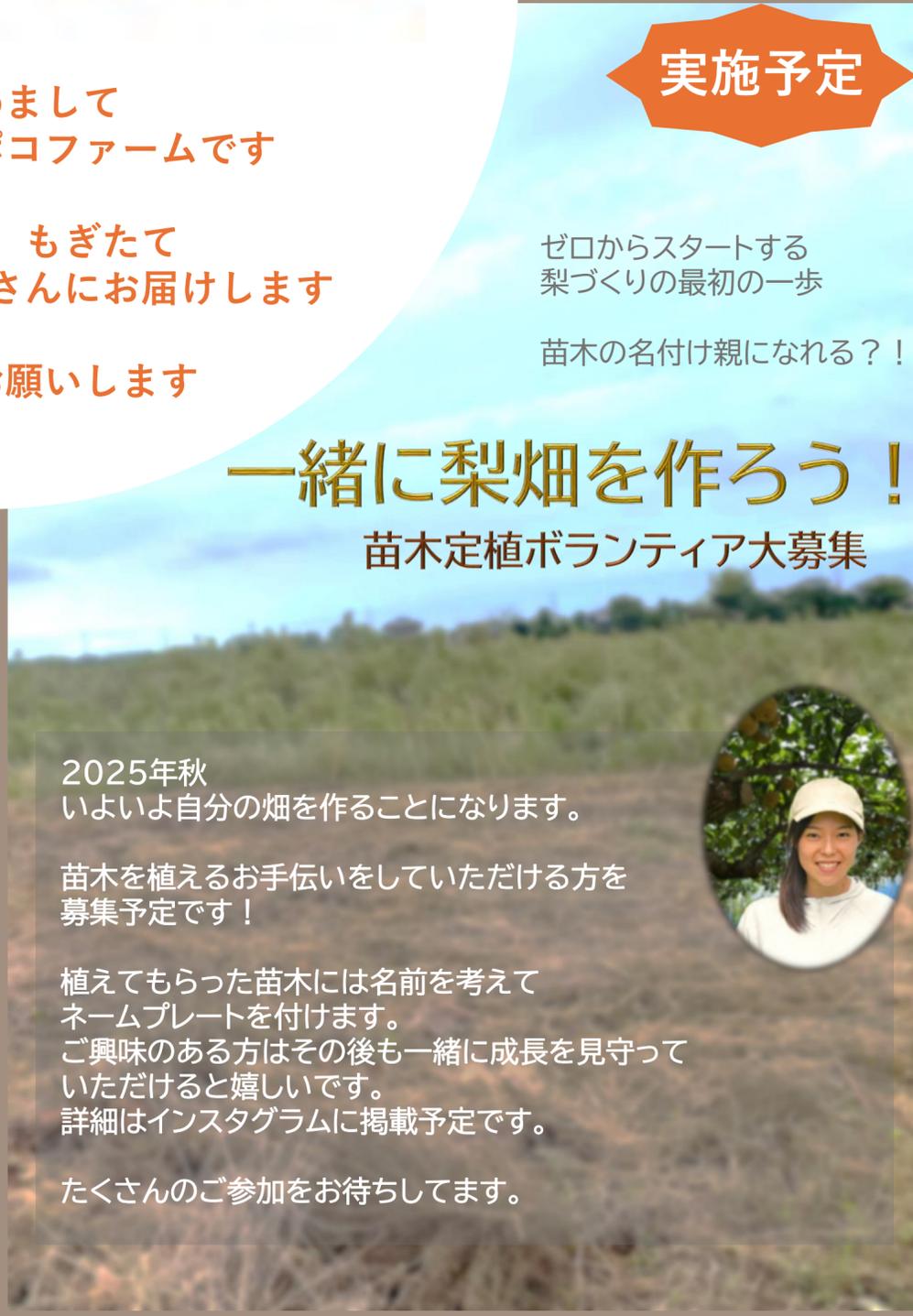
2024年8月
ひまわり畑の一般開放を実施しました。

直前に台風が来てしまい、花が倒れてしまったにもかかわらず、
たくさんの方々にご来場いただきました。
ご近所の方やInstagramを見てくださっている方などに
地域おこし協力隊の活動や畑の計画、農業に対する思いを
お話し、私のことを知ってもらうことができました。

告知方法や、日程の決め方、安全対策などイベント運営の大変さ
も学びました。

種まき、一般開放にきてくれた皆さん、ありがとうございました！

実施予定



ゼロからスタートする
梨づくりの最初の一步

苗木の名付け親になれる？！

一緒に梨畑を作ろう！

苗木定植ボランティア大募集

2025年秋
いよいよ自分の畑を作ることになります。

苗木を植えるお手伝いをしていただけの方を
募集予定です！

植えてもらった苗木には名前を考えて
ネームプレートを付けます。
ご興味のある方はその後も一緒に成長を見守って
いただけると嬉しいです。
詳細はInstagramに掲載予定です。

たくさんのご参加をお待ちしています。



ナシ農家になる前に ナス農家になります

NASHINASU

2025年 2月 協力隊卒業 ポコファーム開業

| | | |
|-------|---|---------|
| 2025年 | 春 | ナス苗定植 |
| | 夏 | ナス収穫・出荷 |
| | 秋 | ナシ苗木定植 |

ナシの苗木管理と野菜作りの両立

2030年 夏 ナシ収穫スタート！



Instagram見てください！

「奥久慈なす」の栽培にも挑戦します！

奥久慈なすは奥久慈ブランド農産物の1つとして市場でも高い評価を受けています。生産者の方々のこだわりと技術が詰まった見た目も美しく味も最高のなすです。

私は野菜栽培の経験はまったく無いので良いものができるかとても不安ですが、新しい挑戦にワクワクしています。

生産者の一員として認めてもらえるように本気で勉強して取り組みます。

なしの栽培も引き続き頑張るのでよろしくお祈りします。

NASHI